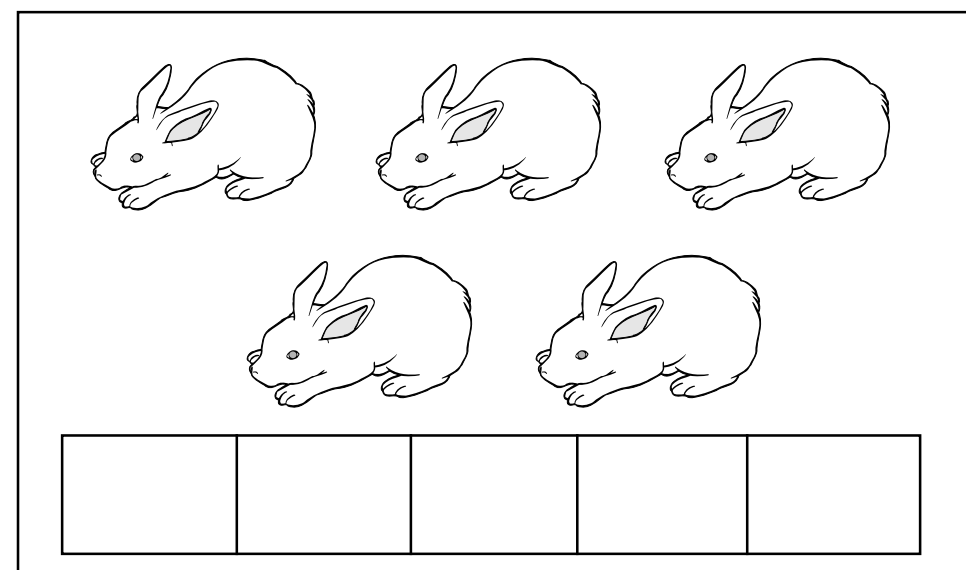
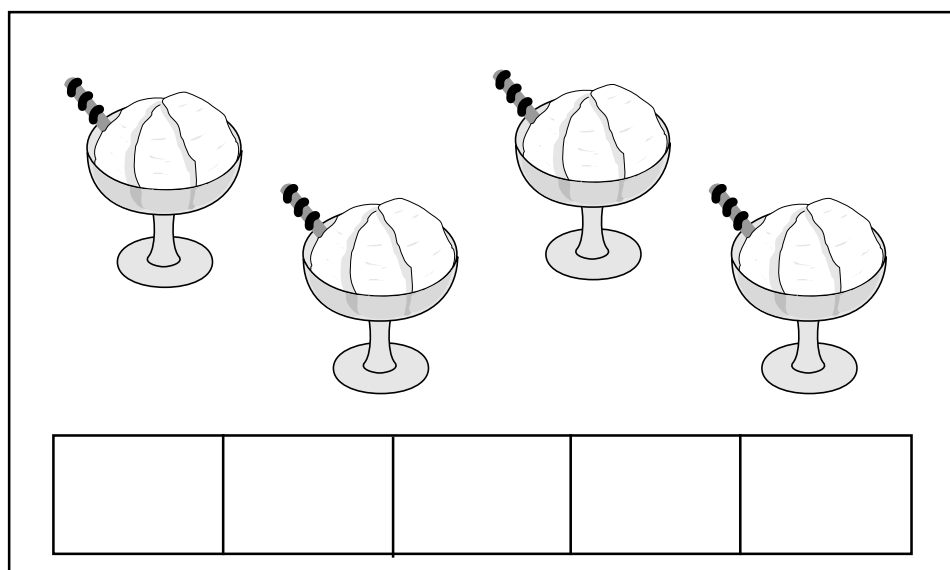
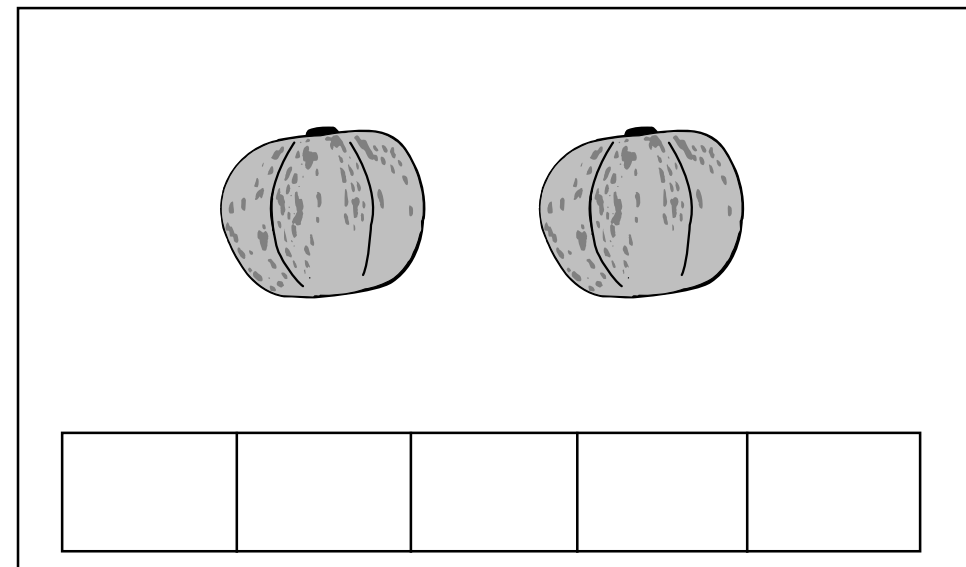
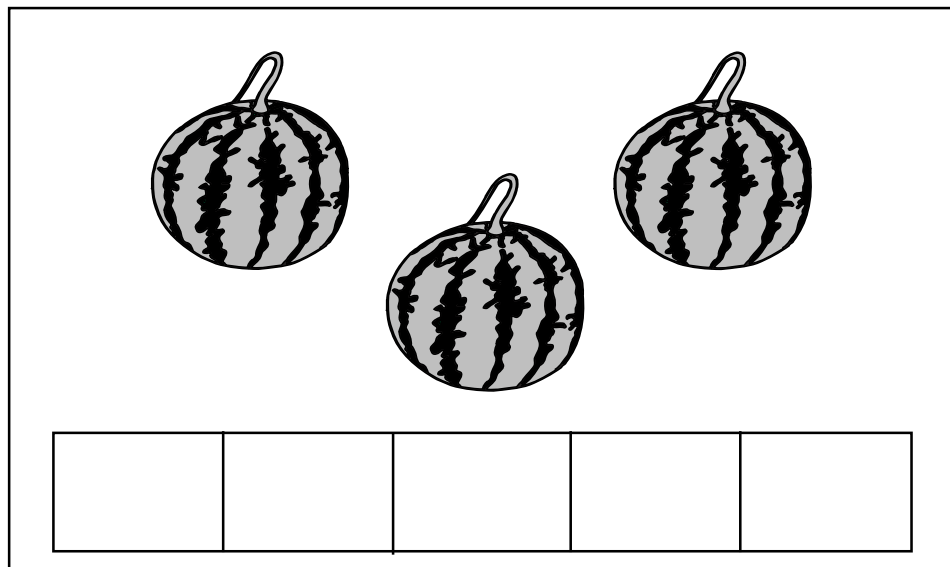
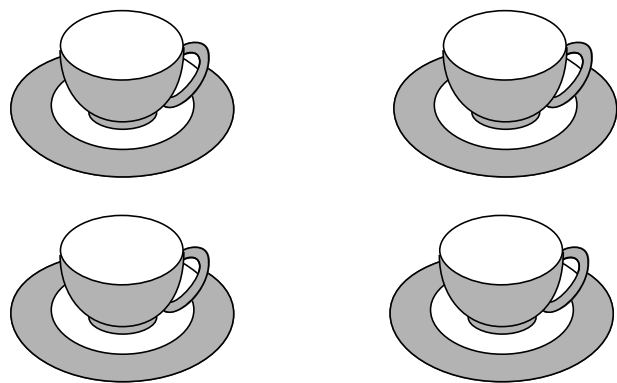
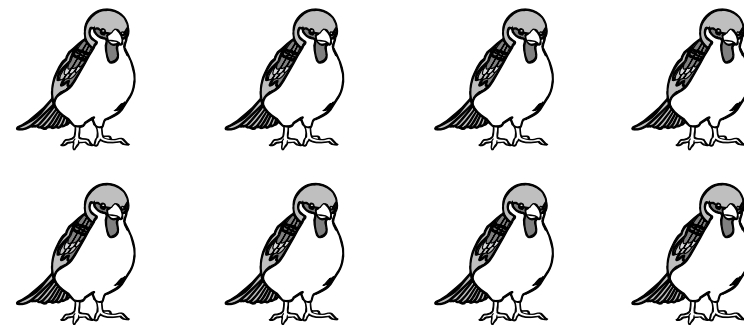


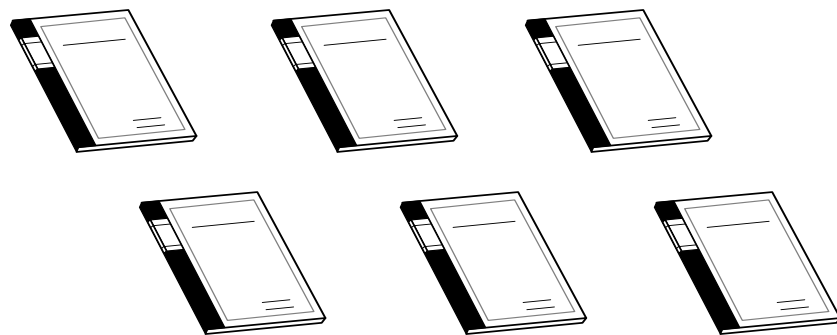




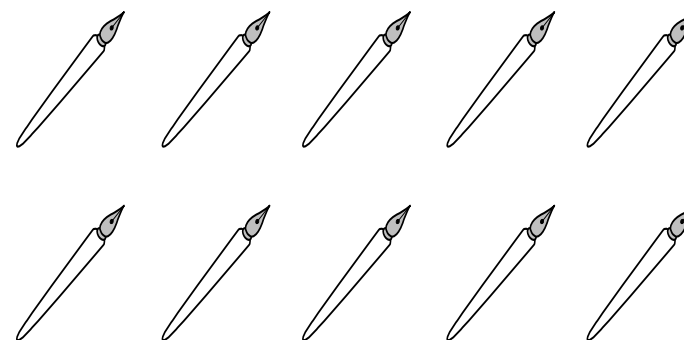
1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

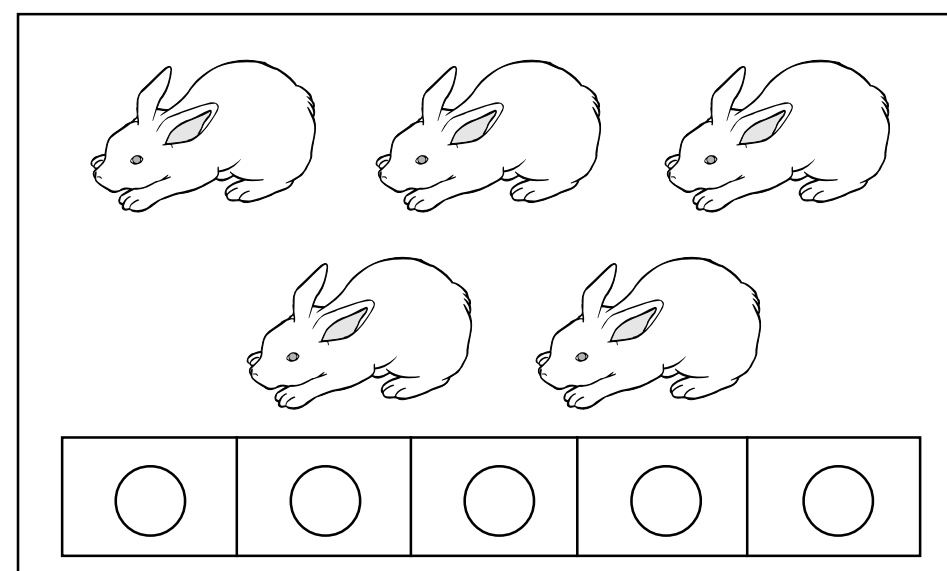
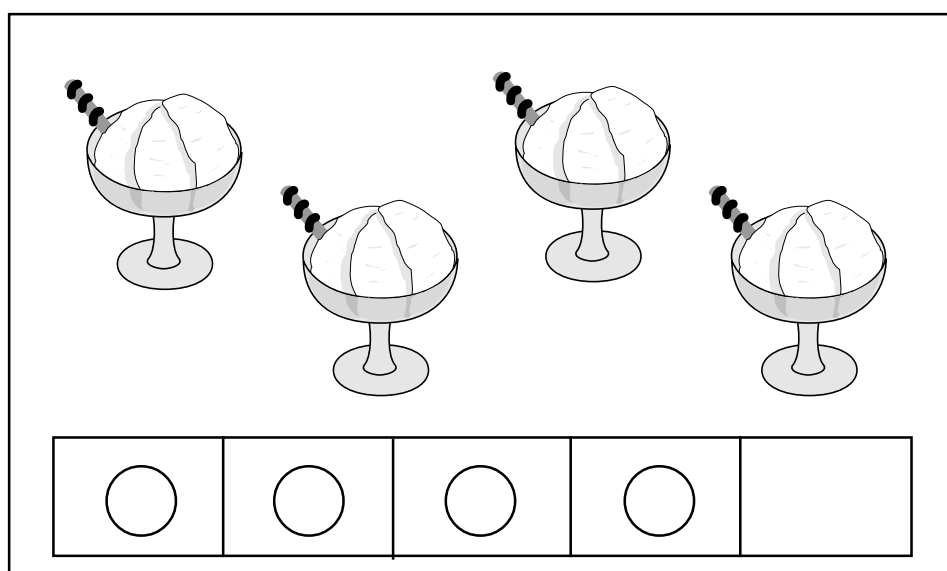
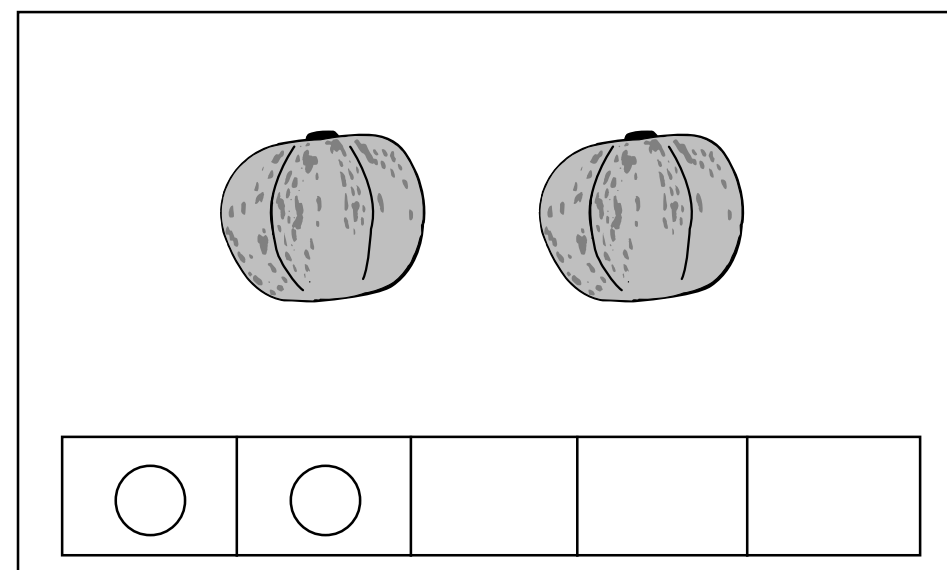
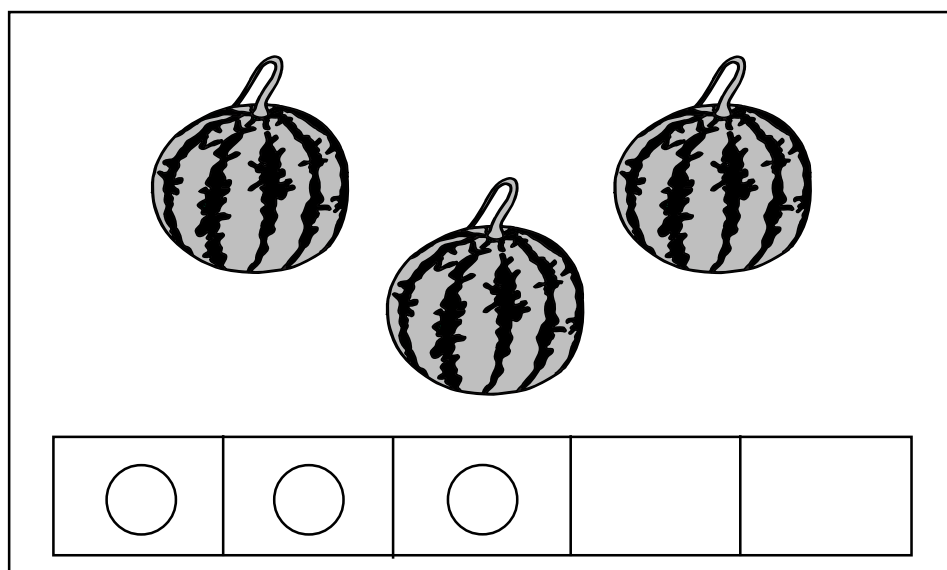


3	4	5	6	7
---	---	---	---	---



6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

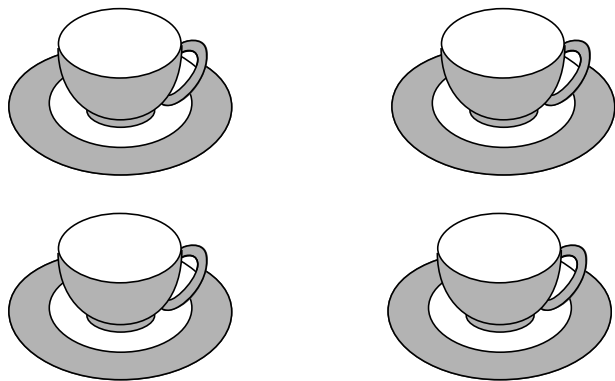
<問題> いくつあるでしょう。その数だけ下の□に○をかきましょう。



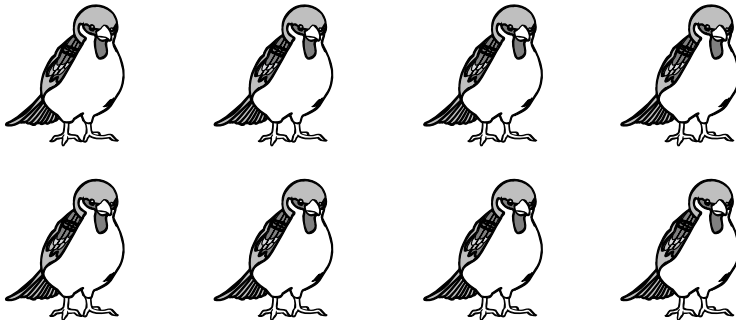
<指導のポイント>

いくつあるか、絵に印をつけながら「1、2、3」と絵の数を数えます。それから、「1、2、3」と数えながら下の箱に絵と同じ数だけ○をかきましょう。数える声と手がうまく合うように、ゆっくり数えながら、左はしから順に○を1つずつかかせて下さい。

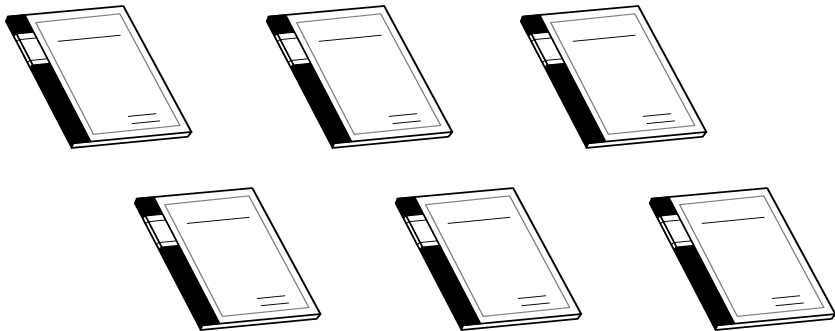
<問題> いくつあるでしょう。その数の数字に○をつけましょう。



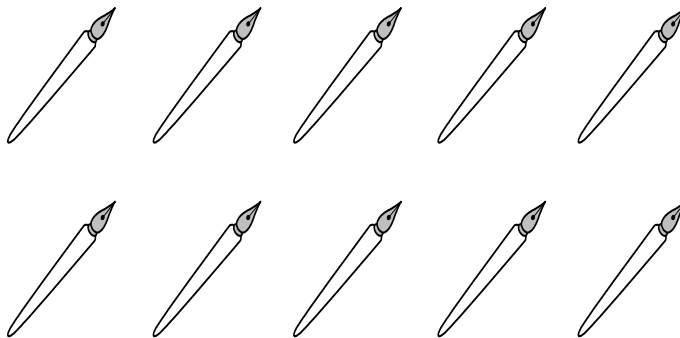
1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



6	7	8	9	10
---	---	---	---	----



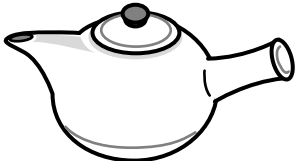
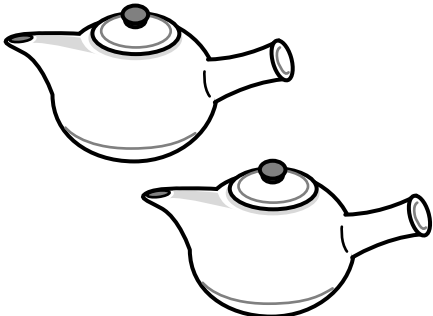
3	4	5	6	7
---	---	---	---	---

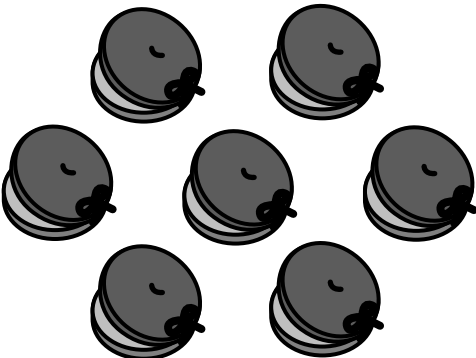


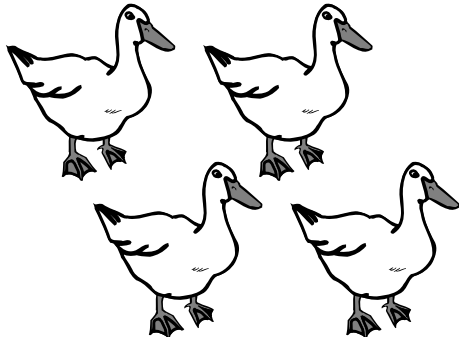
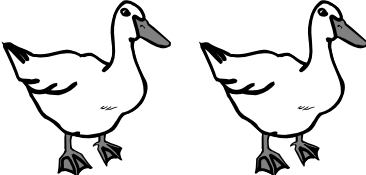
6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

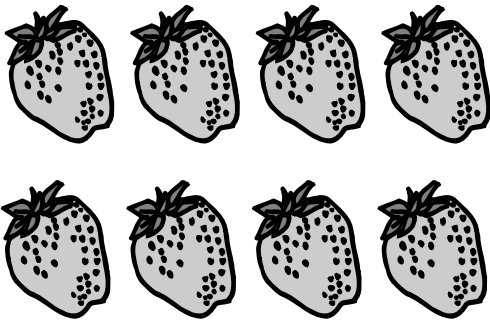
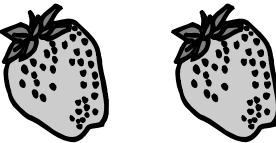
<指導のポイント>

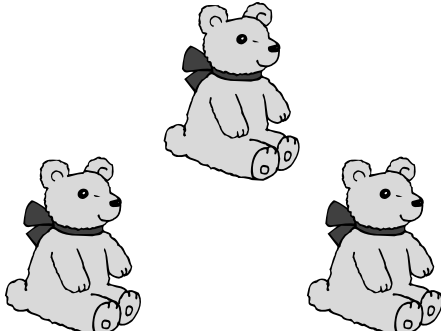
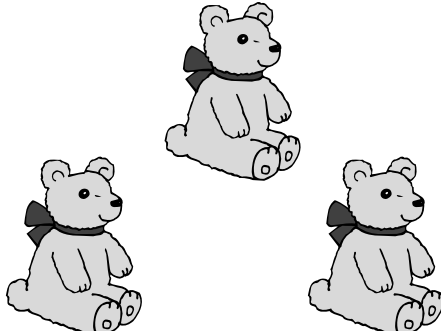
数える時には、絵に1つずつ印をつけながら、「1、2、3、4」と声を出して数えさせましょう。まず、指導者がお手本を見せてあげて下さい。お子さんが数える時は、印をつける手と数える声がうまく合うように、ゆっくり一緒に声をかけてあげて下さい。

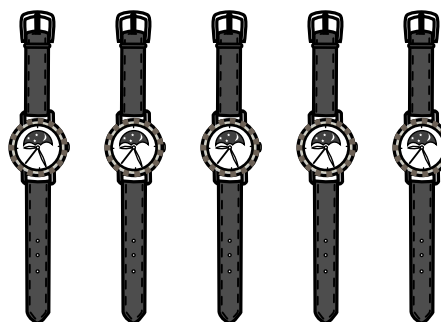
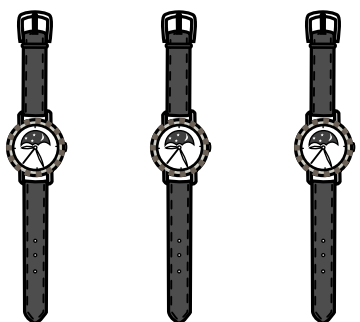
				
1	2	3	4	5

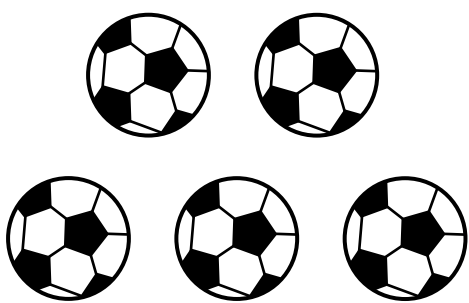
				
6	7	8	9	10

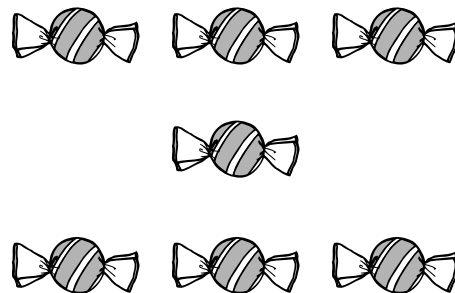
				
4	5	6	7	8

				
6	7	8	9	10

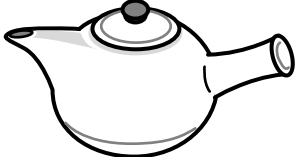
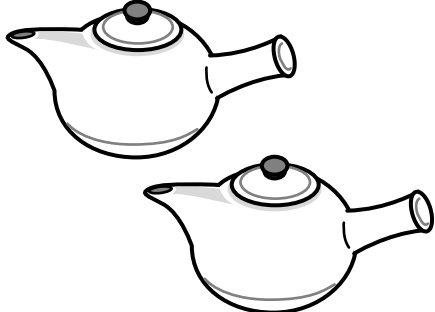
				
6	7	8	9	10

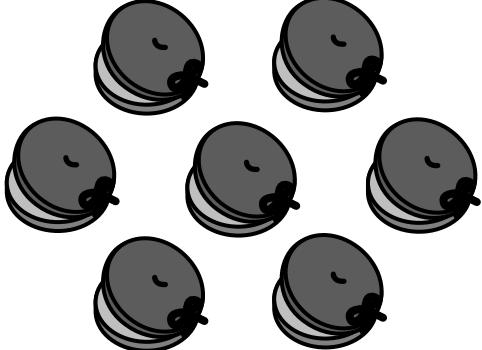
				
6	7	8	9	10

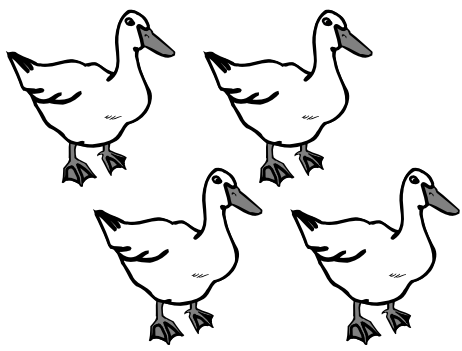
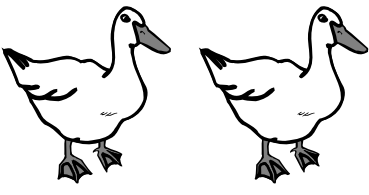
				
6	7	8	9	10

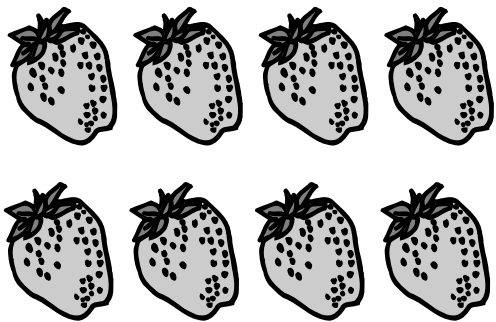
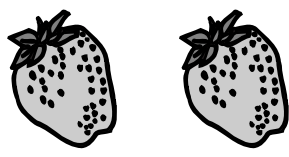
				
6	7	8	9	10

<問題> あわせるといくつになるでしょう。その数の数字に、○をつけましょう。

				
1	2	3	4	5

				
6	7	8	9	10

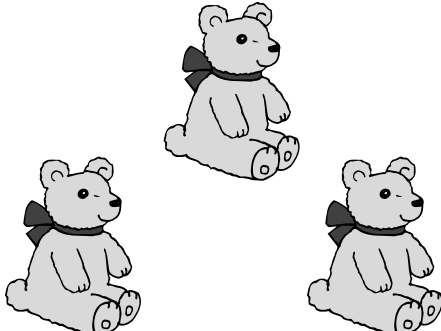
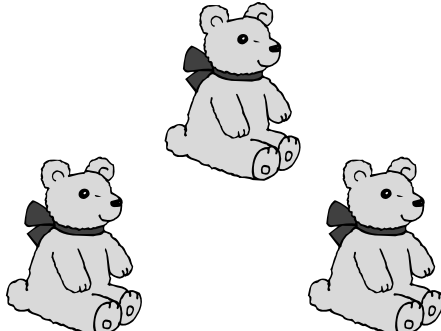
				
4	5	6	7	8

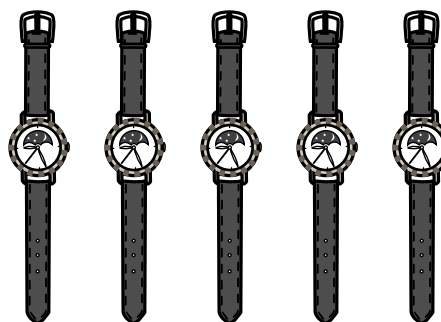
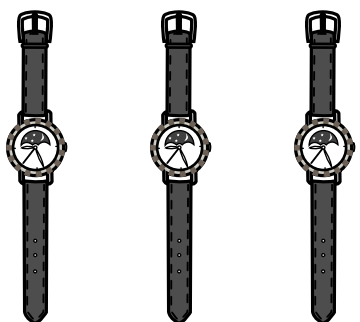
				
6	7	8	9	10

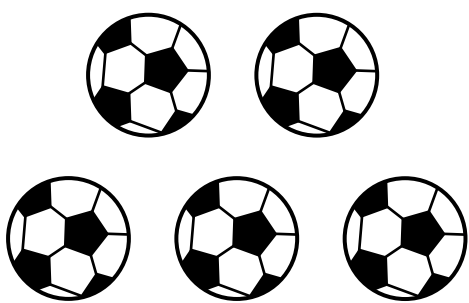
<指導のポイント>

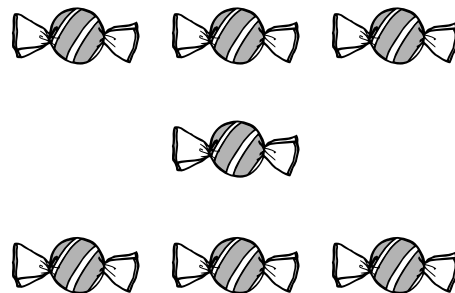
ここでは、答えが10以下の「たす2」を学習します。まず、左と右のそれぞれの絵の数を先に数えて、左右をあわせた数を考えましょう。左から絵の数を数えて、その続きで右の絵の数を数えると、あわせた数になります。答えあわせの時には、絵を指さしながら「1と2で3」というように説明して、復唱させるとよいでしょう。

<問題> あわせるといくつになるでしょう。その数の数字に、○をつけましょう。

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

<指導のポイント>

ここでは、答えが10以下の「たす3」を学習します。まず、左と右のそれぞれの絵の数を先に数えて、左右をあわせた数を考えましょう。左から絵の数を数えて、その続きで右の絵の数を数えると、あわせた数になります。答えあわせの時には、絵を指さしながら「3と3で6」というように説明して、復唱させるとよいでしょう。

あ



い



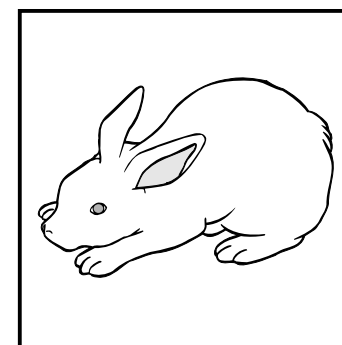
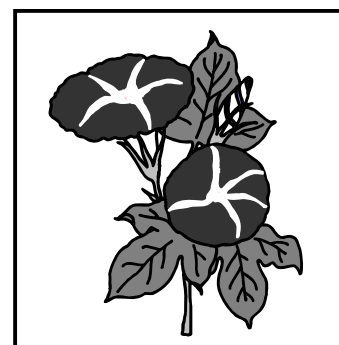
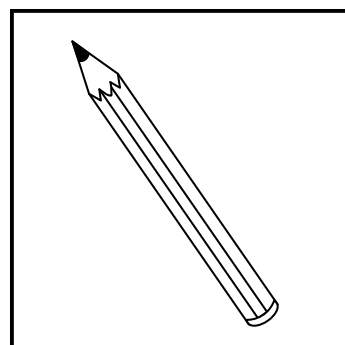
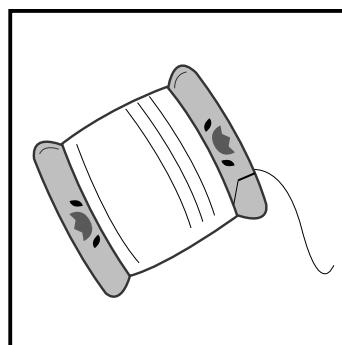
う



え



お



か



き



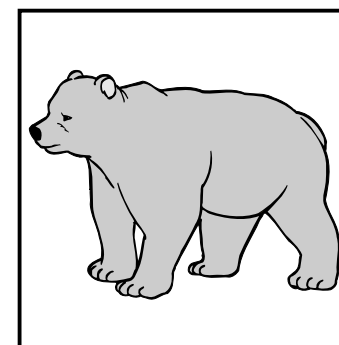
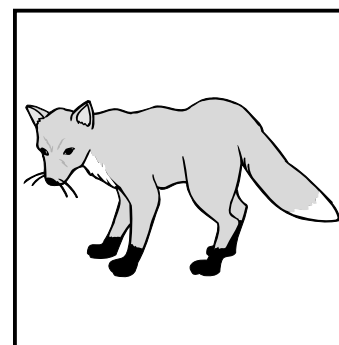
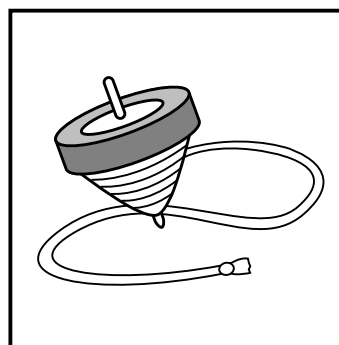
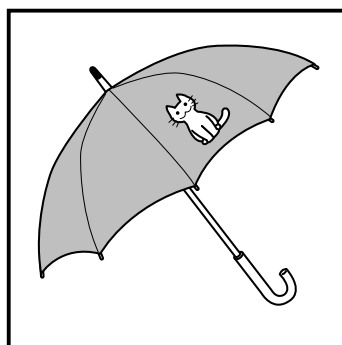
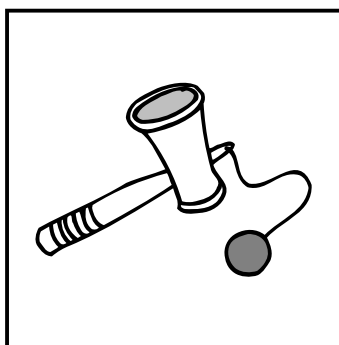
く



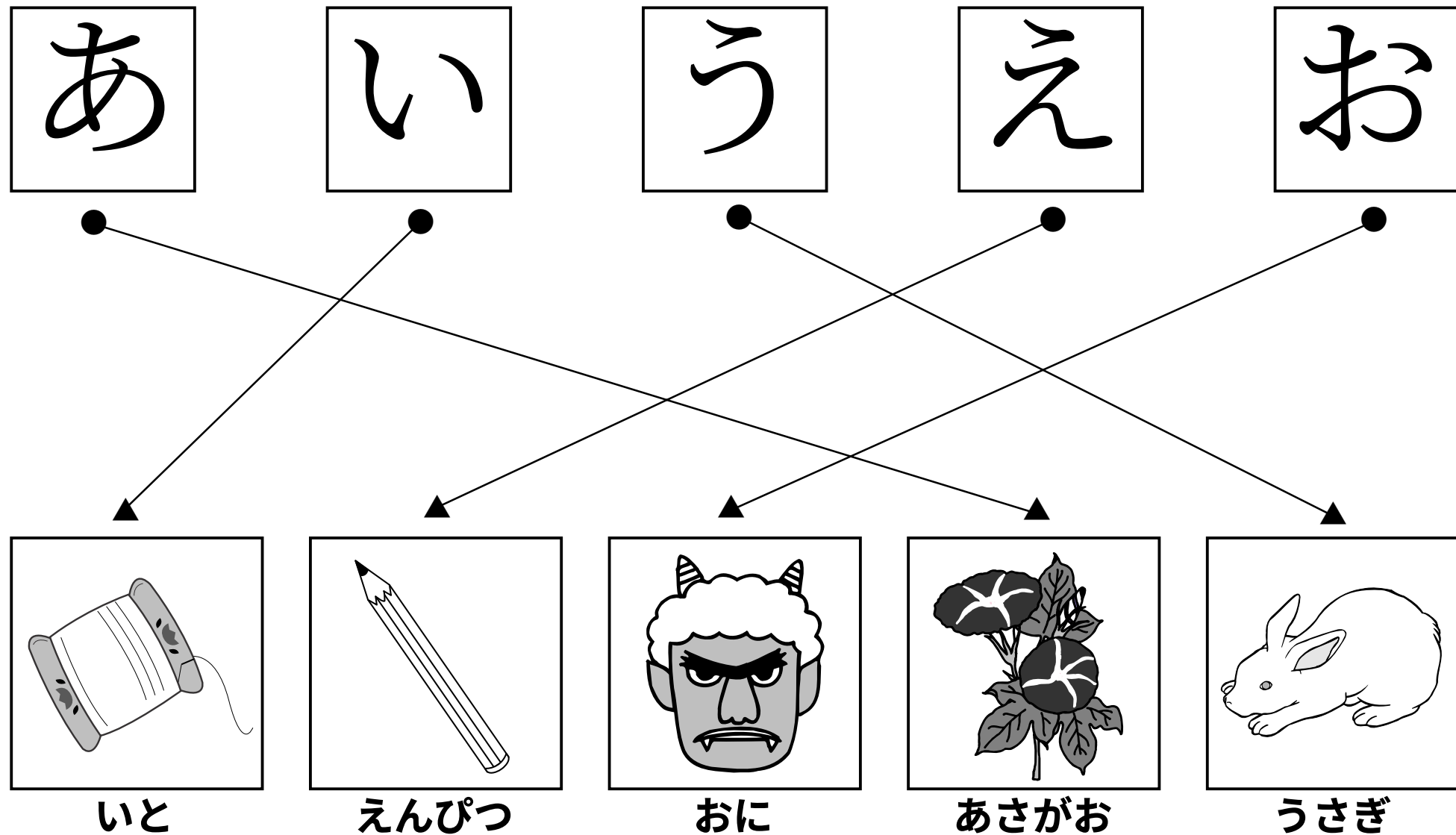
け



こ



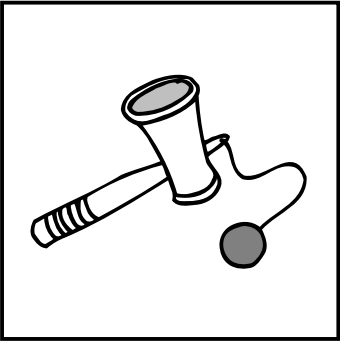
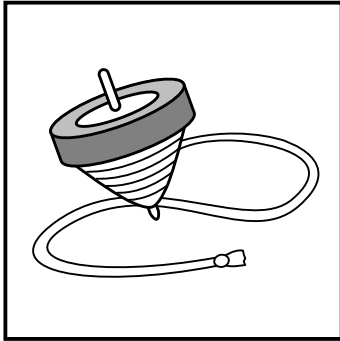
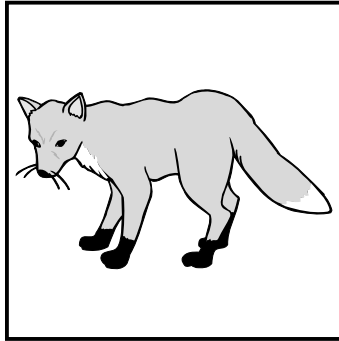
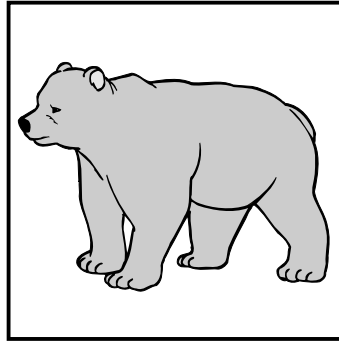
<問題> 上の段のひらがなで始まることばを下からさがして、線で結びましょう。



<指導のポイント>

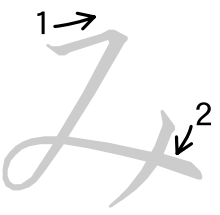
まず、下の段の絵の名前と一番はじめの音を確認しましょう。（「いと」の「い」、「えんぴつ」の「え」、・・・）それから、ひらがなを一文字ずつ読んで、あう絵と線で結ばせるとよいでしょう。

<問題> 上の段のひらがなで始まることばを下からさがして、線で結びましょう。

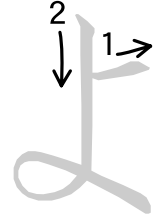
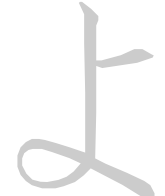
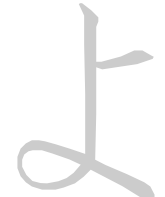
か	き	く	け	こ
				
けんだま	かさ	こま	きつね	くま

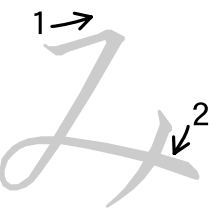
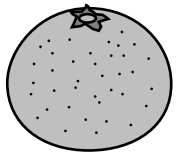
<指導のポイント>

ものの名前と対応させながら、ひらがな（清音）を一文字ずつしっかり読めるようにしましょう。この他にも、「○で始まることば」をさがしてみるとよいでしょう。（例：かに、きしゃ、くり、けむし、こおり）

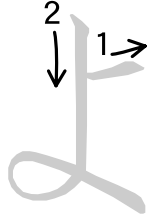
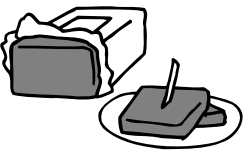




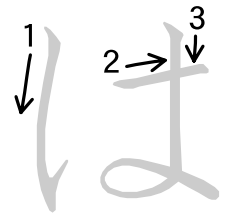
	
	
	
	

ん

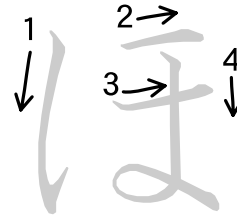
	
	
	
	

かん

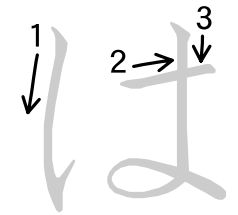
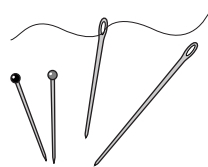
こ

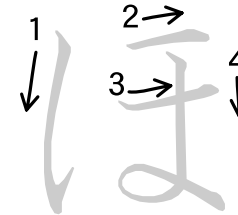
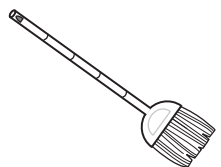




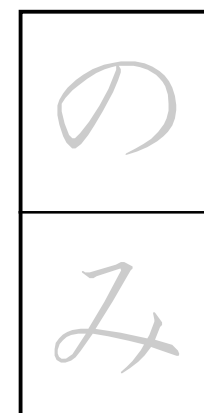
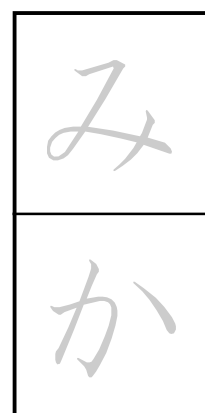
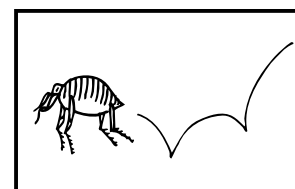
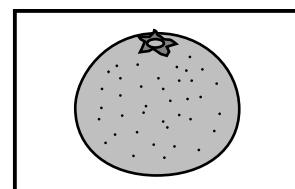
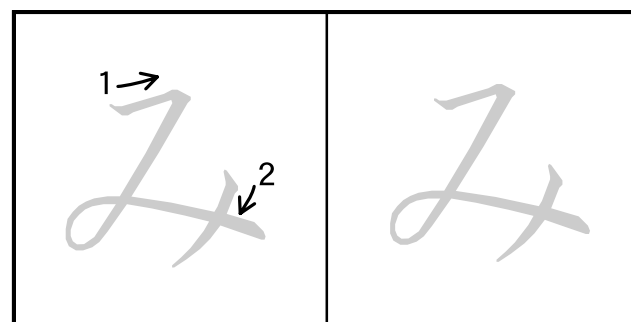
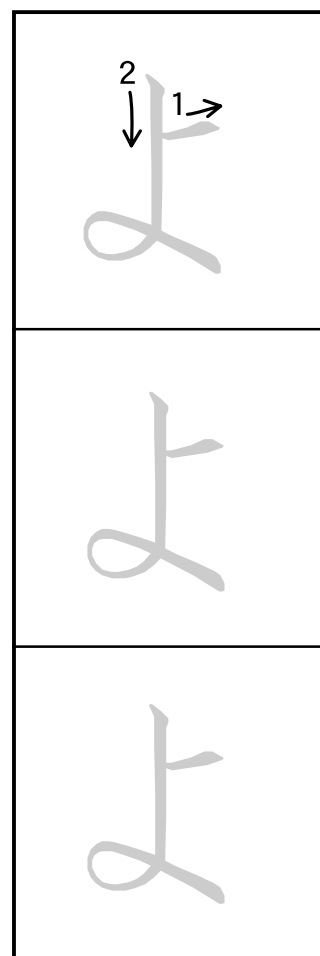
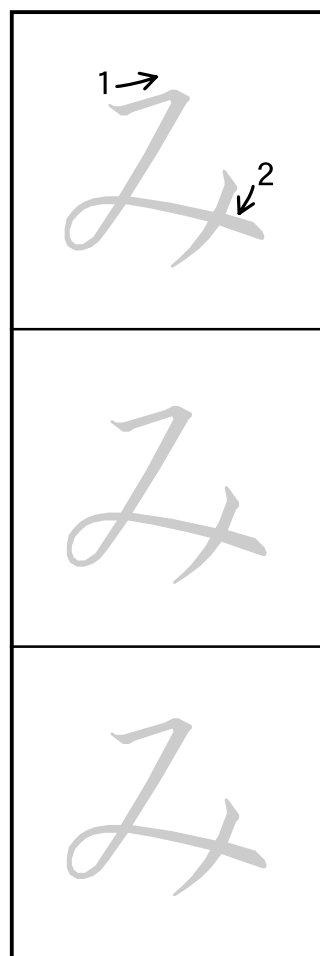




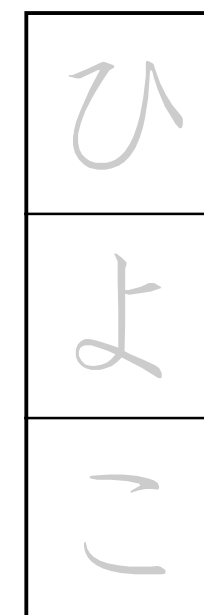
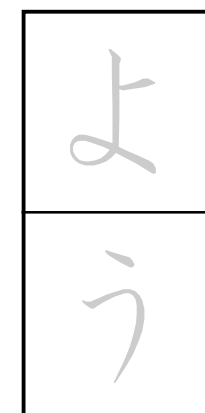
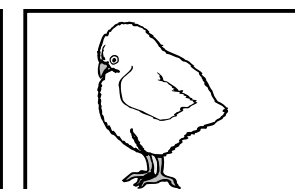
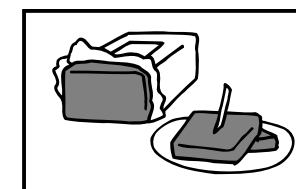
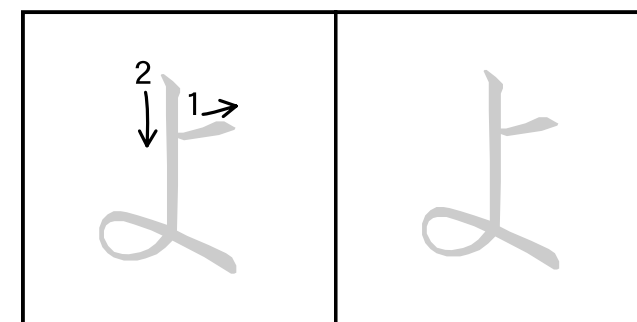
	
	
	
	

<問題> ひらがなをなぞって書きましょう。



ん

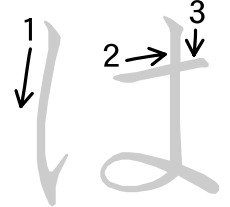
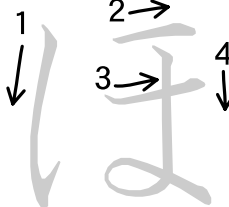


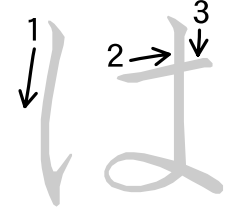
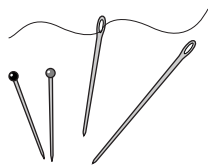
かん

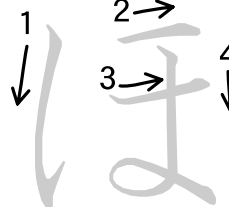
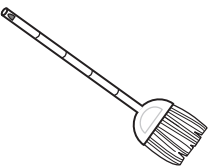
<指導のポイント>

これまでに学習してきた文字と一緒に、なぞり書きの練習をします。「か」「の」「ひ」「こ」。お子さんが書く前に、これらの文字もお手本を書いて見せてあげるとよいでしょう。

<問題> ひらがなをなぞって書きましょう。

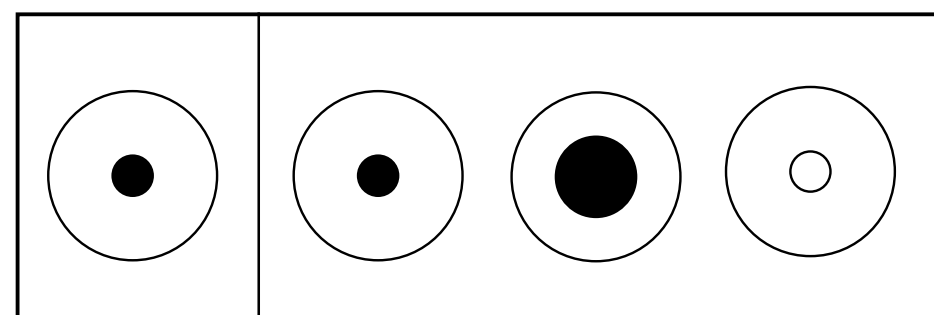
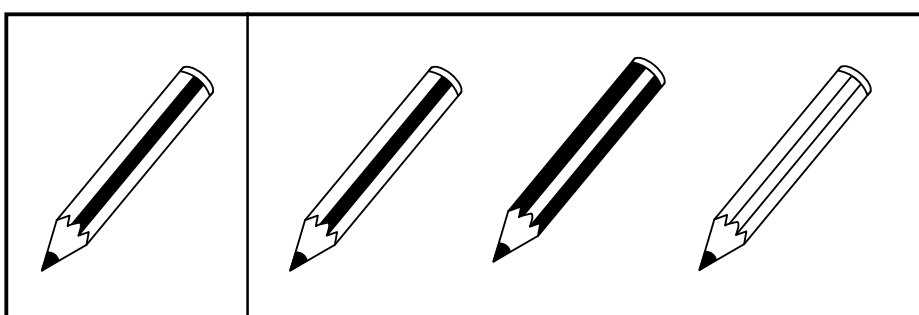
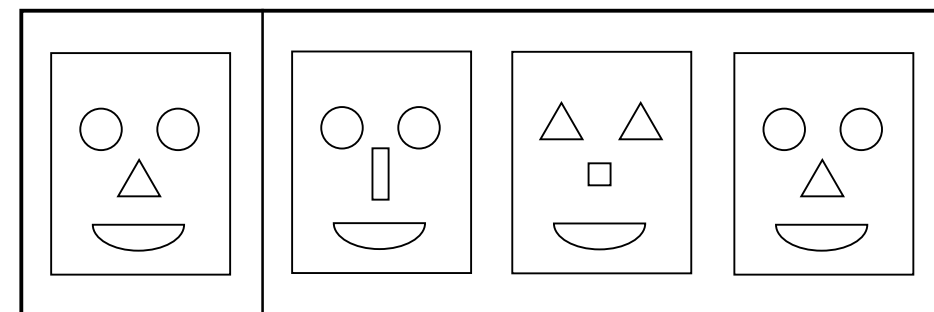
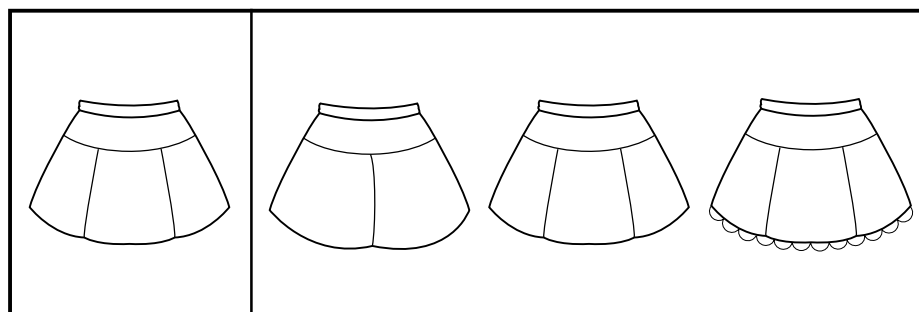
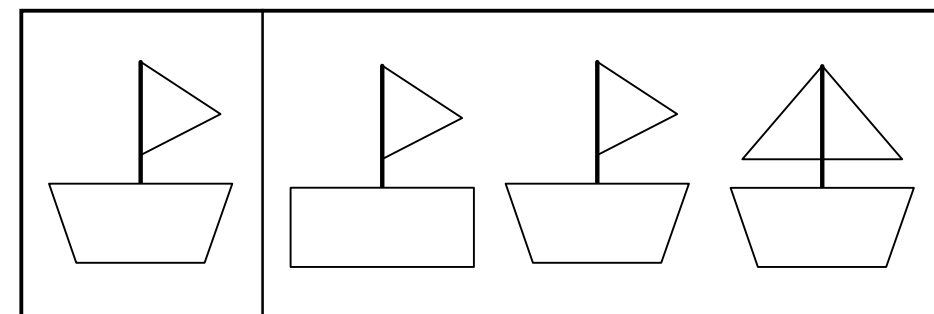
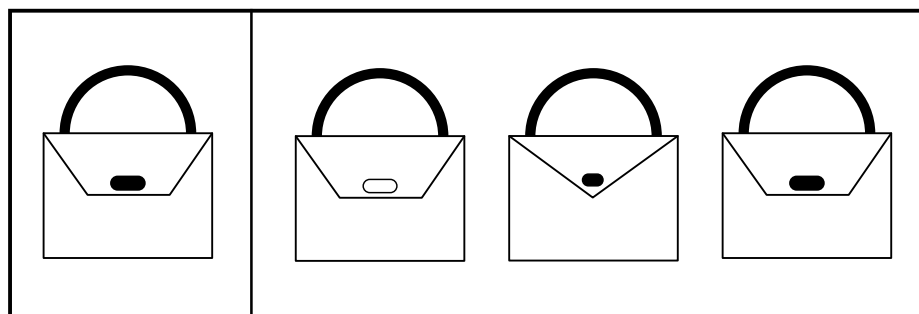
	
	
	

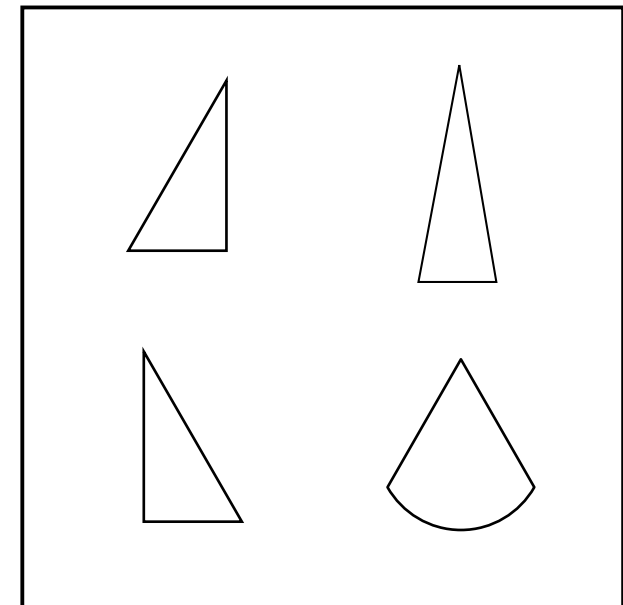
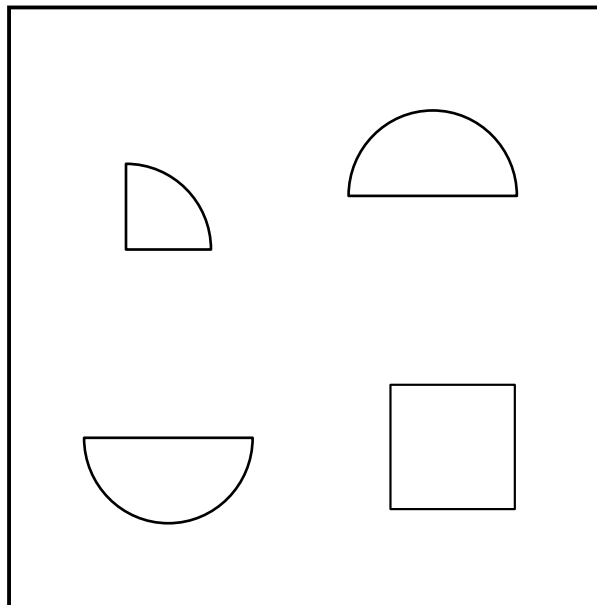
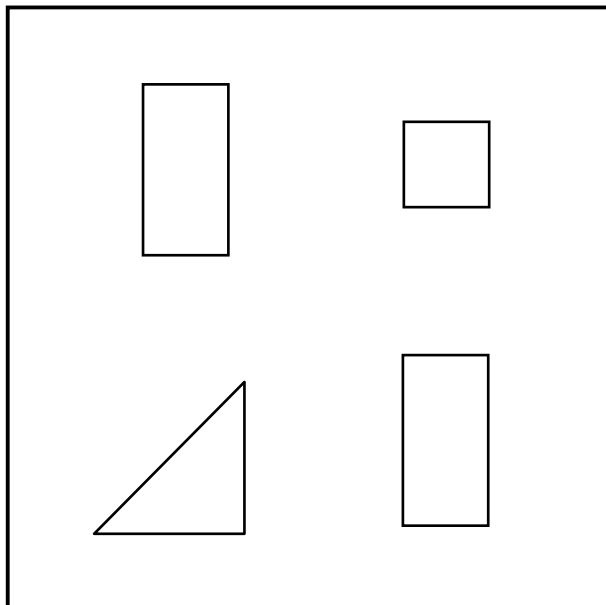
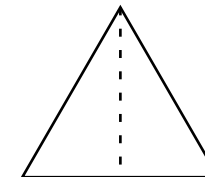
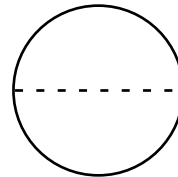
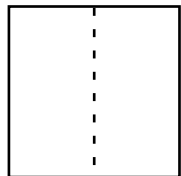
	
	
	
	

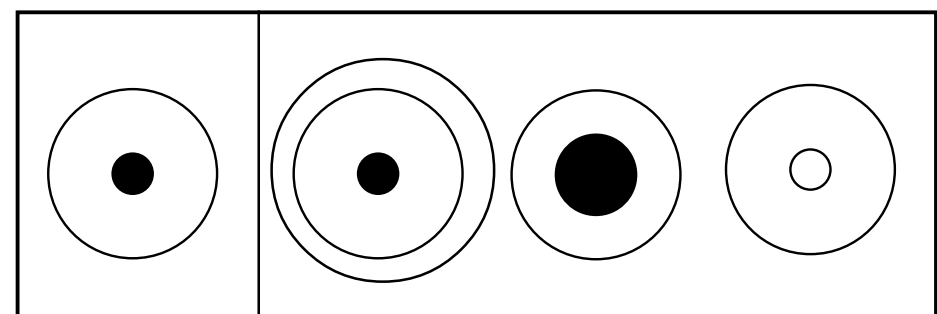
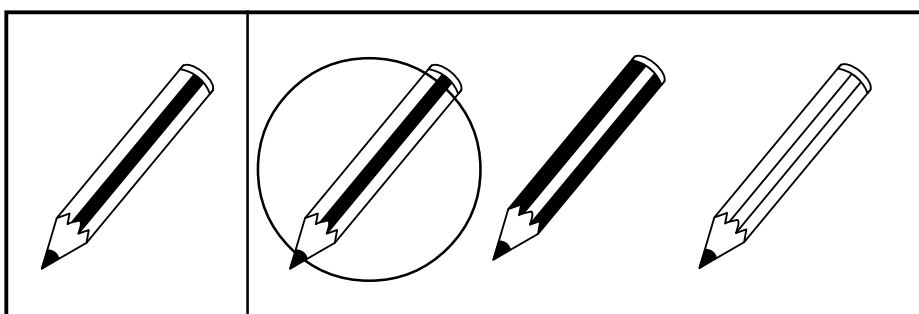
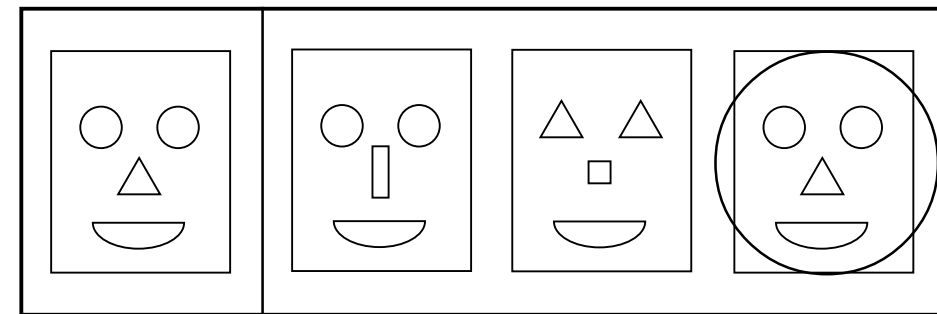
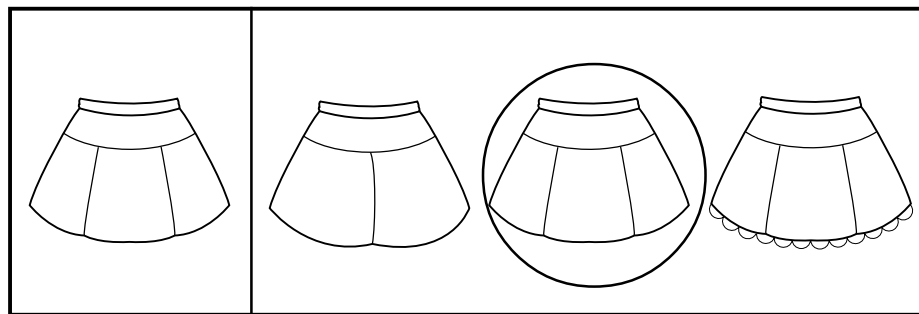
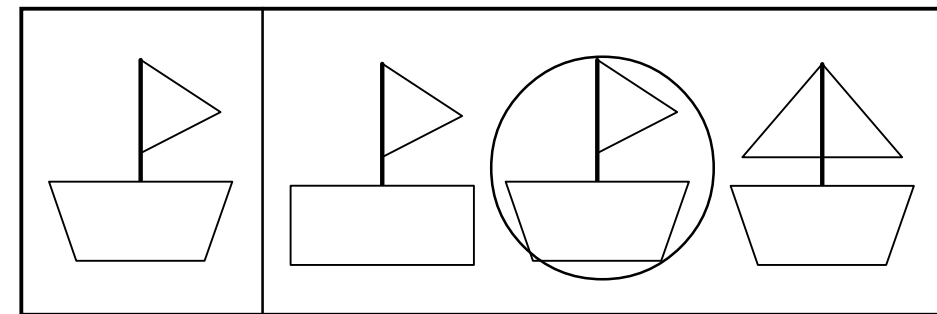
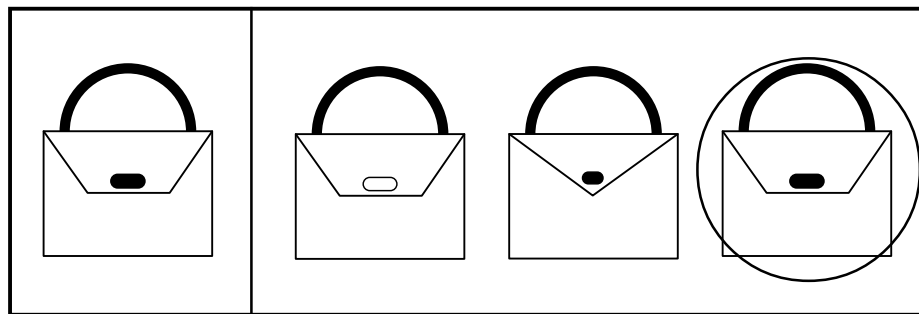
<指導のポイント>

「は」と「ほ」は、形が似ているので、注意させましょう。「1、2、3、4」と声をかけながらお手本を書いてみせて、書き順や画数を教えてあげるとよいでしょう。





<問題> 左はしと同じものに、○をつけましょう。

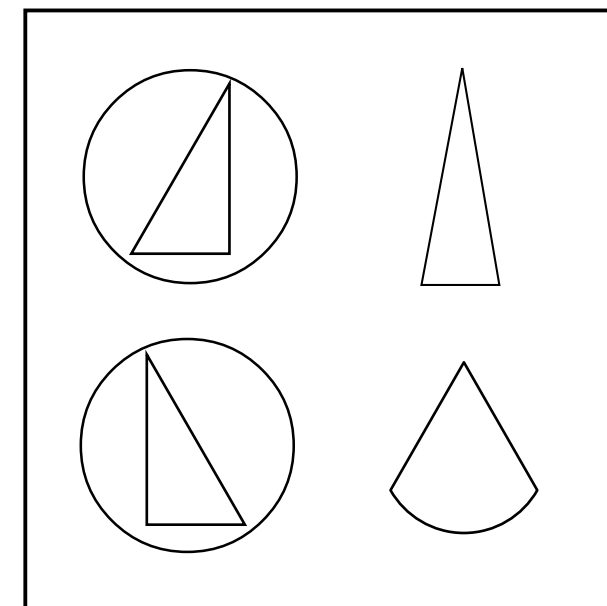
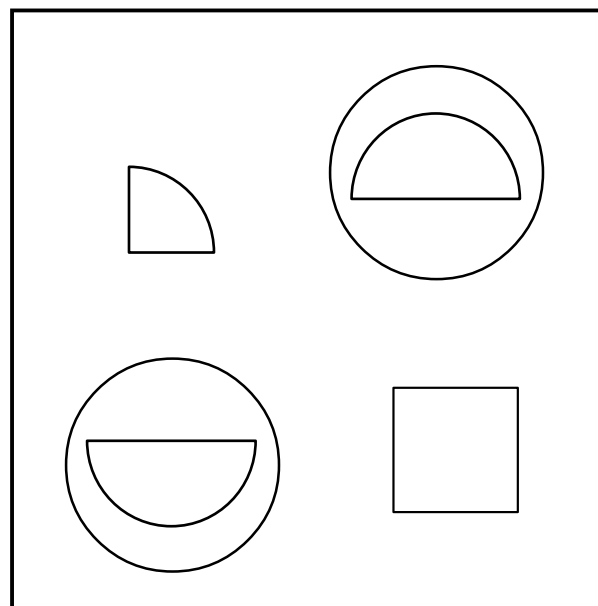
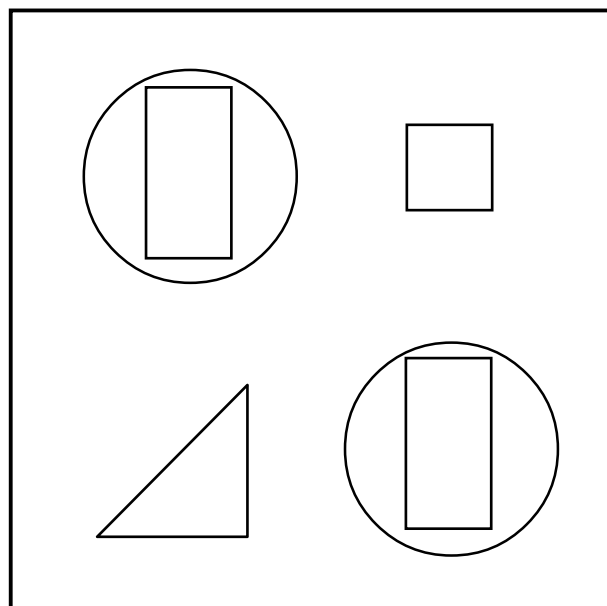
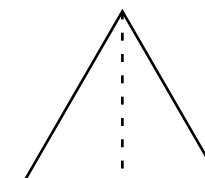
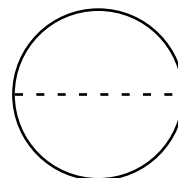
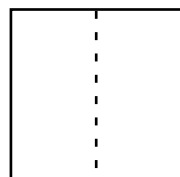


<指導のポイント>

同じ絵を見つけるには、一つずつ形や色を見比べることが大切です。あわてずに、集中してしっかり比べるように、指導してあげてください。

答えをまちがえた場合は、その答えとお手本の違うところを指さして、「ここも、左はしの絵と同じかな?」(ちがう)と問い直し、ポイントを示しながらもう一度考えさせてあげましょう。

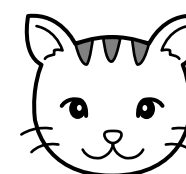
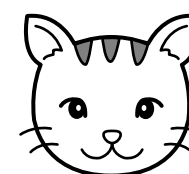
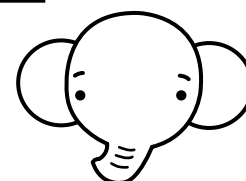
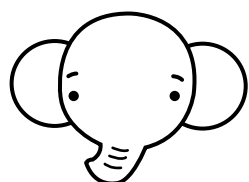
<問題> 上の形を点線で切ると、どんな形ができますか。できた形に○をつけましょう。

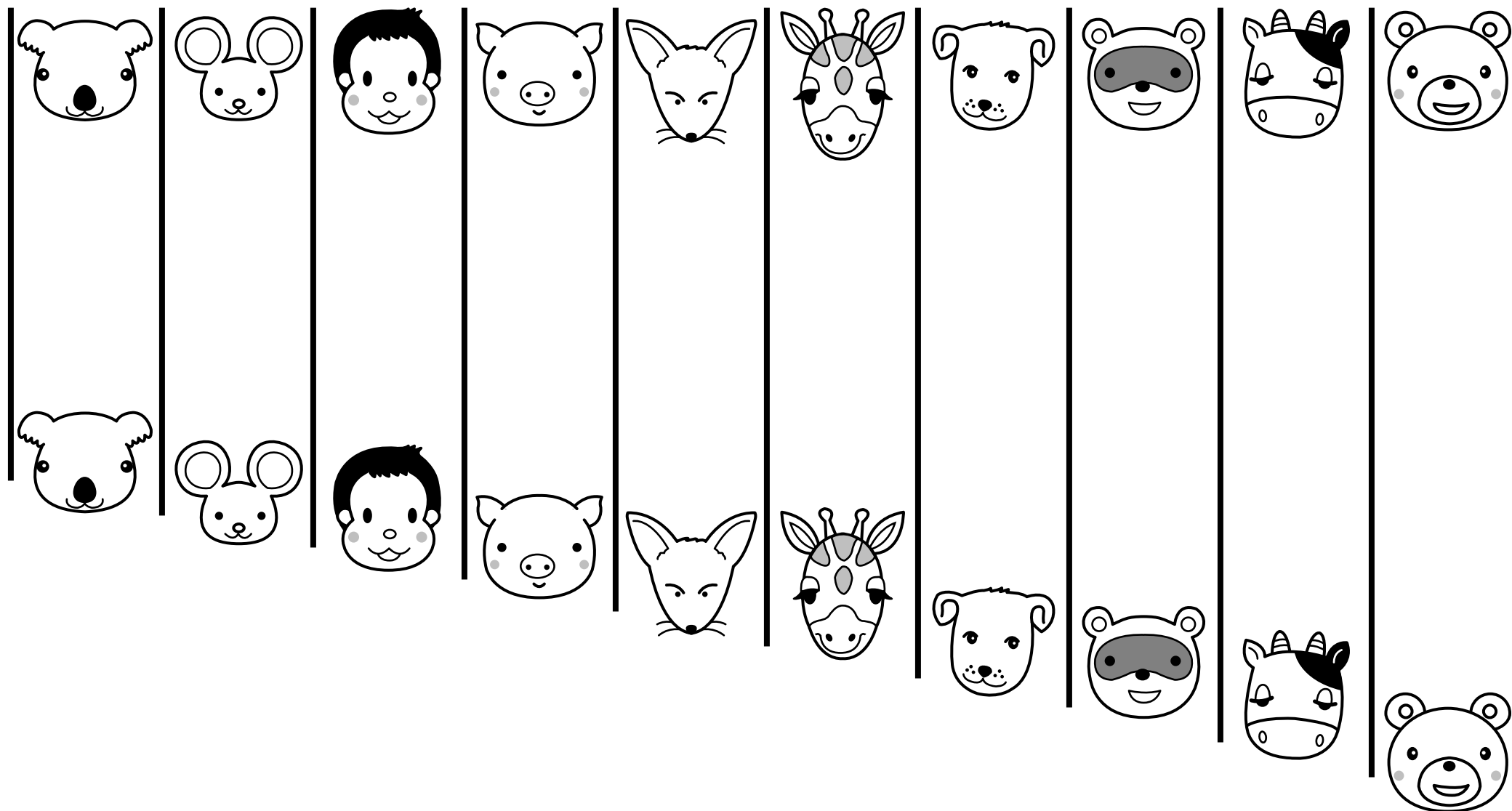


<指導のポイント>

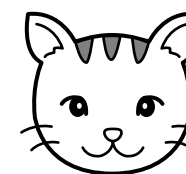
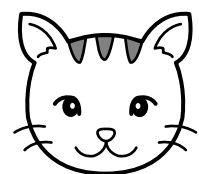
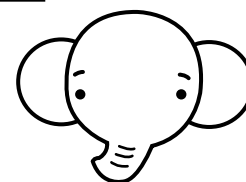
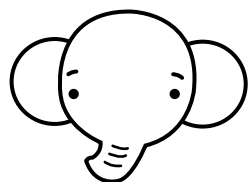
問題の意味がよくわかるように、上の形（円、正方形）の点線の部分を指さしながら質問してあげるとよいでしょう。色紙などで同じ形を作って、お子さんの目の前で切って見せてあげると、よくわかります。

図形の力は、実際に「手」を使ってたくさん形遊びをすることで育ってきます。図形パズルや色紙などを使って、いろいろな形をバラバラにしたり、組みあわせたりして、遊ばせてみましょう。





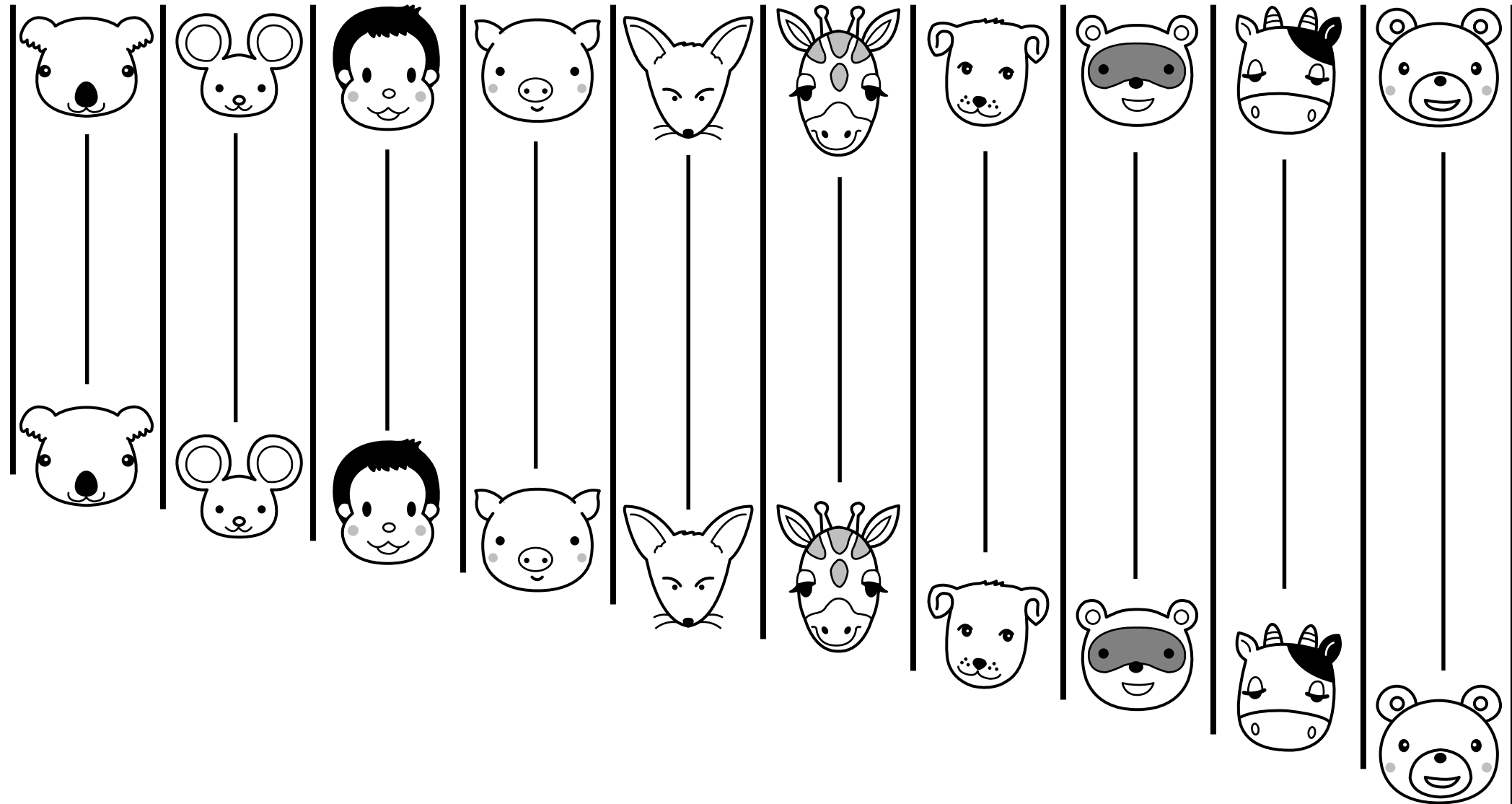
<問題> 同じ絵を結んで、横にたくさん線をひきましょう。



<指導のポイント>

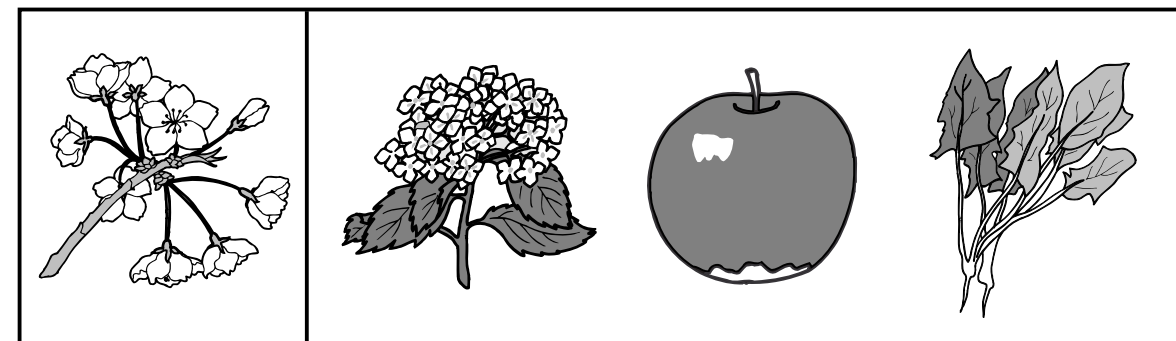
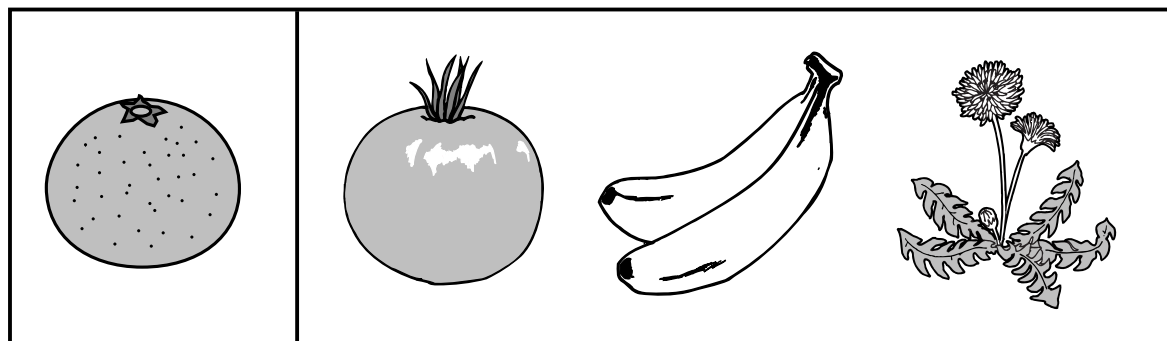
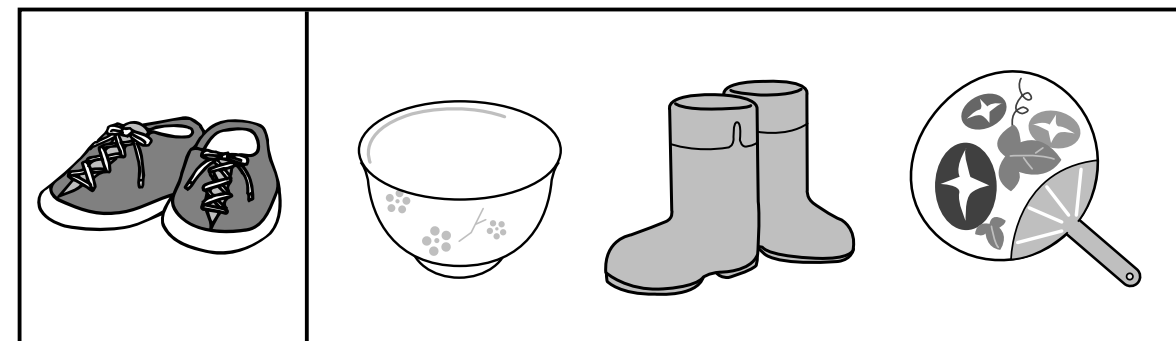
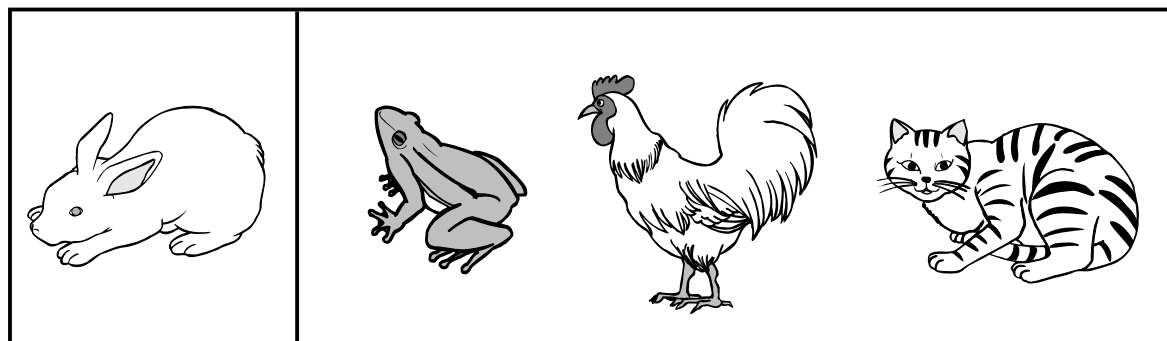
鉛筆または色鉛筆を正しく持って、力を入れてできるだけまっすぐに線をひきましょう。左手は、きちんとプリントをおさえておきます。かく姿勢にも気をつけましょう。左から右へ右から左へとたくさん線にかく練習をしてみましょう。

<問題> 同じ絵を結んで、たてにたくさん線をひきましょう。



<指導のポイント>

鉛筆または色鉛筆を正しく持って、力を入れてできるだけまっすぐに線をひきましょう。左手は、きちんとプリントをおさえておきます。かく姿勢にも気をつけましょう。上から下へ下から上へとたくさん線にかく練習をしてみましょう。



日
にち

月
げつ

火
か

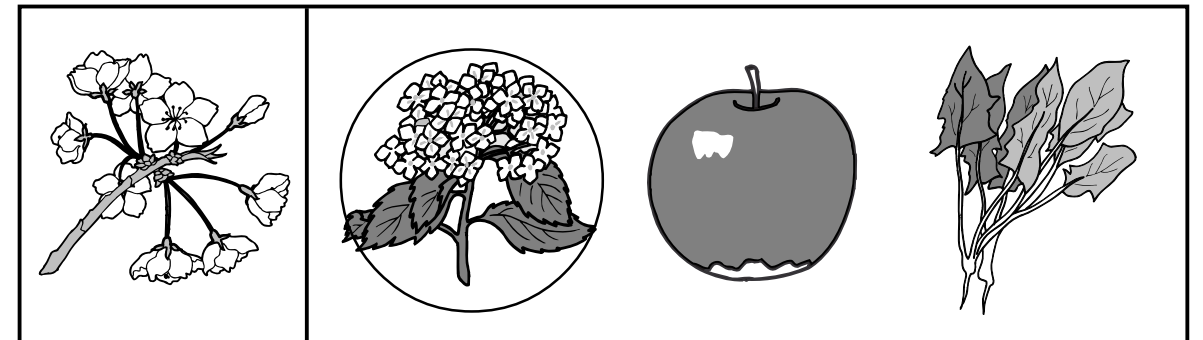
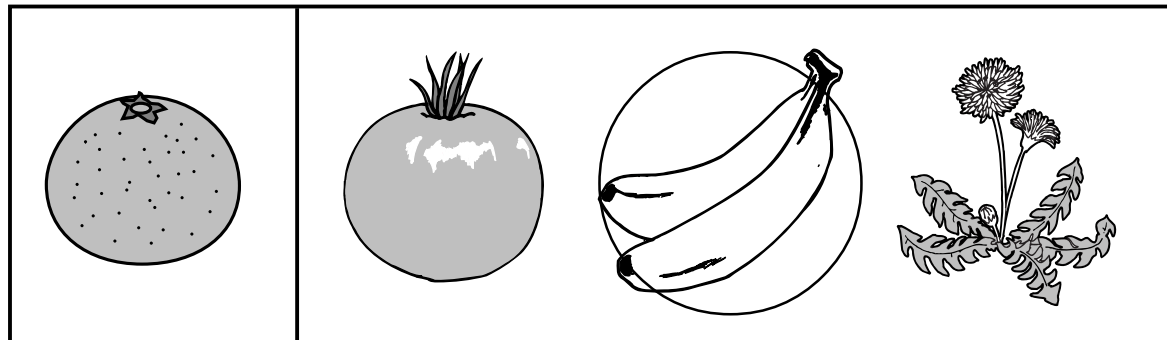
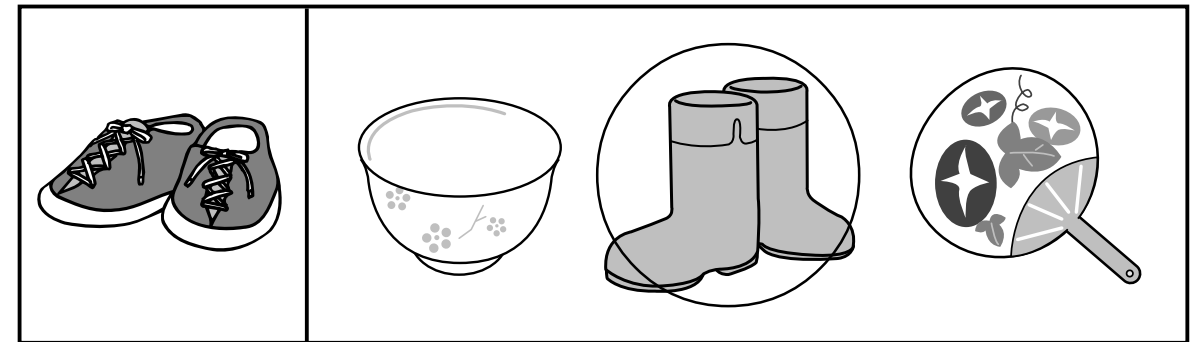
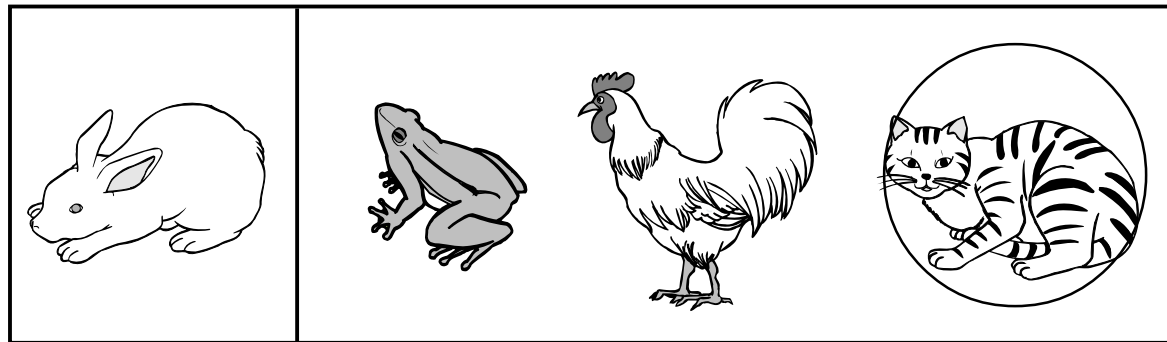
水
すい

木
もく

金
きん

土
ど

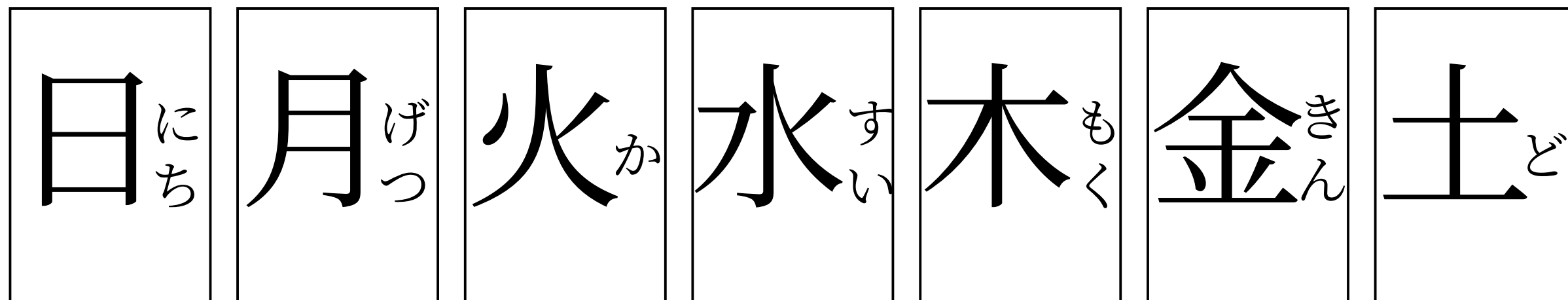
<問題> 左はしと同じ仲間のものに、○をつけましょう。



<指導のポイント>

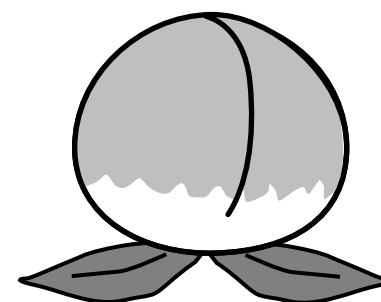
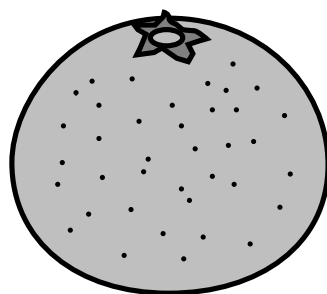
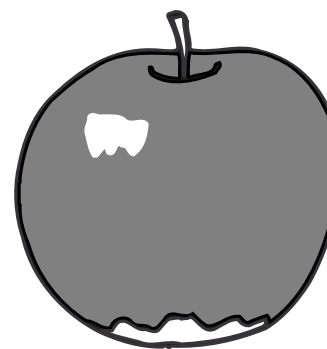
何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがさせましょう。答えあわせの時には、「うさぎもねこもけものの仲間ね」というように仲間の種類も教えてあげてください。(はきもの、くだもの、花)

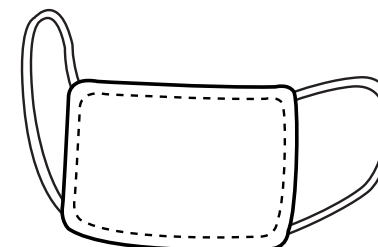
- <問題> (1)一週間の曜日を言いましょう。
(2)今日は、何曜日ですか。その曜日の漢字に、○をつけましょう。
(3)昨日は、何曜日ですか。その曜日に△をつけましょう。

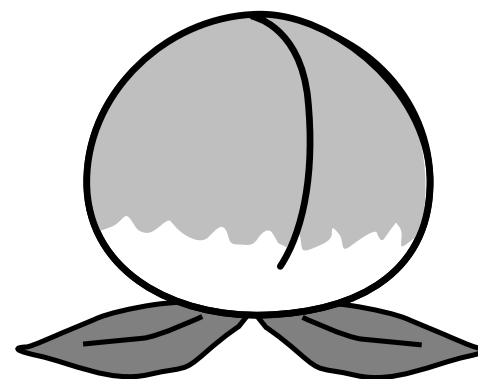
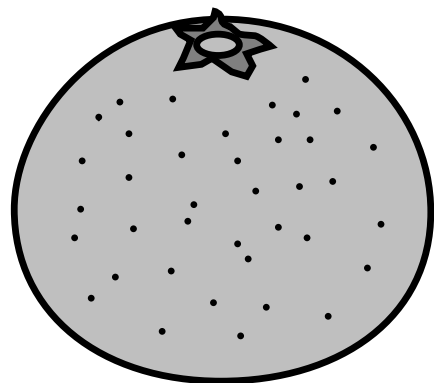


<指導のポイント>

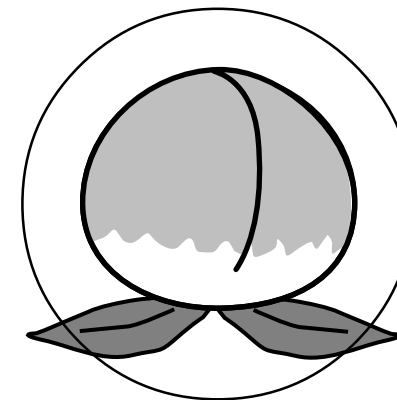
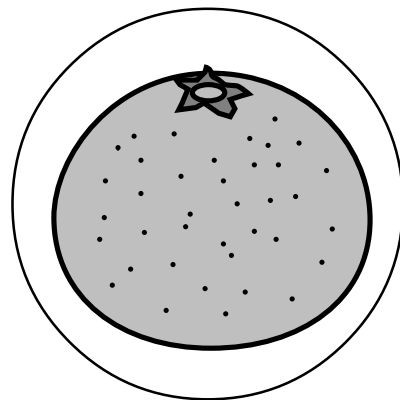
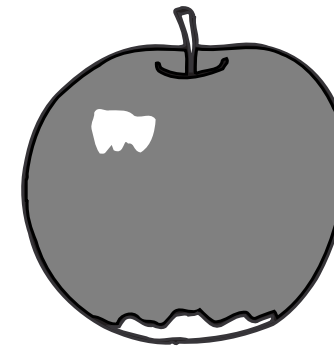
まず、漢字を一つずつ指さしながら、一週間の曜日を言ってあげて、お子さんにくり返させましょう。ふだんからカレンダーを見たりして、少しずつ曜日を意識させていくとよいでしょう。漢字は、無理に覚えなくてもかまいません。テキストでは、身近なものを少しずつとりあげていきます。お子さんが興味を持って見るようになれば、漢字はどんどん覚えられます。





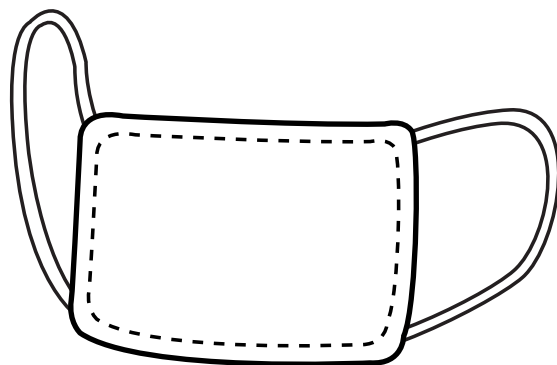


- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「何があるか、よく見ましょう。何があったか、後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「何がありましたか。○をつけましょう。」

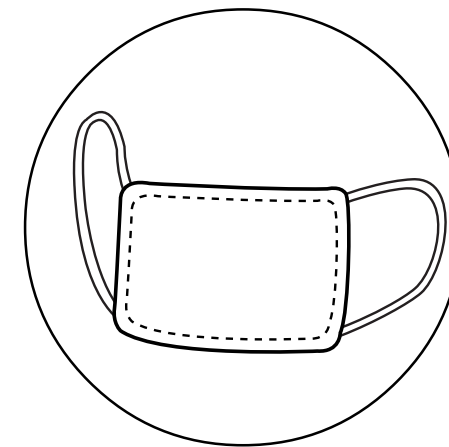


<指導のポイント>

短い時間に集中して見る練習です。ゲームのように楽しいふんい気でやりましょう。10秒間だけ絵を見せたら、すぐ絵をふせて質問して下さい。その後で答えあわせをかねて、もう一度絵を見せてあげるとよいでしょう。



- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「何があるか、よく見ましょう。何あったか、後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「何がありましたか。○をつけましょう。」



<指導のポイント>

答えあわせをかねて、もう一度絵を見せた後で、「何がありましたか」と質問し、「マスクとくつ」というように、言葉でも答えさせておくとよいでしょう。